

平成 16 年度

**兵庫県立農林水産技術総合センター 年 報**  
**(農業編)**

**兵庫県立農林水産技術総合センター**

# 目 次

## I 組 織

1 位 置	1
2 施 設	1
3 予 算	1
4 機 構	2
5 職 員	3

## II 業 務

1 試 験 研 究	9
(1) 項 目 一 覧	9
(2) 主 要 な 成 果	19
(3) 新 規 に 実 施 し た 業 務	34
2 普 及 活 動	46
(1) 改 良 普 及 員 の 資 質 の 向 上	46
(2) 生 産 振 興 ・ 地 域 農 業 の 推 進	47
(3) 食 品 加 工 技 術 の 普 及 指 導	51
3 教 育 ・ 研 修	52
(1) 養 成 部 門	52
(2) 研 修 部 門	54

## III 業 績

1 普 及 に 移 し た 新 技 術	57
2 セ ン タ ー 研 究 報 告 に 登 載 し た 事 項	64
3 外 部 に 発 表 し た 事 項	65
4 表 彰 ・ 受 賞 等	90
5 研 究 員 の 派 遣	90
6 研 修 生 ・ 見 学 者 の 受 入 れ	90
7 資 格 ・ 認 定 研 修 へ の 講 師 派 遣	95
8 出 版 物	97

# 1 試験研究

## (1) 項目一覧

### 国庫助成・受託

(※印 抄録掲載)

試験研究課題	研究期間	担当
タマネギの産地判別法の開発 (1) 無機元素情報による産地判別技術の開発 (2) DNA増幅断片パターンによる品種判別技術の開発 (3) 無機元素情報及びDNA情報の統合による産地判別法の開発	平15~17	部長(農林水産環境担当) 部長(生物学担当) 淡路農技農業部
*野菜における硝酸塩蓄積機構の解明と低減化技術の開発 (1) 葉面散布等による低硝酸塩化技術 (2) 野菜による土壌のクリーニング技術 (3) 現地実証試験	平14~16	部長(農林水産環境担当) 園芸部
主要作物のカドミウム吸収・蓄積を抑制するための総合管理技術の開発 (1) カドミウム多吸収植物の検索 (2) 栽培管理法の検討 (3) 現地実証試験	平15~19	部長(農林水産環境担当)
有機質資源連用試験 (1) 水田(水稻栽培)における土壌の変化と生育・収量	継 続	〃
丹波黒大豆規格外品の有効利用(食品産業機能高度化実践事業) (1) 丹波黒大豆規格外品の素材評価 (2) 丹波黒大豆規格外を利用した加工食品開発 (3) 加工食品の機能性評価	平15~17	部長(食品加工流通担当)
*リモートセンシング技術を活用する水稻生産調整現地確認簡略化法の開発 (1) リモートセンシングに基づく転作現況の確認と生育診断 (2) 開発システムの現地性能試験と実証 (3) 詳細メッシュ気候データベースの作成 (4) 生育診断と詳細メッシュ気候値の利用による収量・品質予測法の開発 (5) 地域別予測システムの検討	平14~16	作物部
*クリーンエネルギーを利用した野菜の生産安定技術 (1) 雑草、害虫の発生実態の把握と基幹技術導入条件の解明 (2) 太陽熱、熱水消毒による雑草防除、害虫の密度及び土壌養分集積抑制技術の開発 (3) 耕種、物理、生物的手法を用いた害虫防除技術の開発 (4) 養分集積土壌における施肥管理と低硝酸野菜生産技術の開発 (5) 耕種、物理、生物的手法を組み合わせた雑草、主要害虫、栄養障害に対する総合技術体系の実証	平13~16	園芸部、部長(農林水産環境担当)、病虫害防除部、経営・機械部、北部農技農業部
新鮮でおいしい「ブランド・ニッポン農産物提供のための総合研究」(短節間トマトの周年栽培における高品質生産技術の開発) (1) 新育成系統の生育特性・適応性調査 (2) 房穫り一斉収穫及び高品質生産のための生育制御技術の確立 (3) 低樹高の誘引・整枝法の解明と周年栽培の検討 (4) 閉鎖型育苗システムによる効率的な高品質苗生産 ナス科野菜の特性検定試験	平14~17	園芸部
*伝統野菜の高品質安定生産技術と地産地消モデルの開発 (1) 高品質化技術の開発 (2) 健康増進機能の解明 (3) 食育・地産地消推進モデルの開発	継 続 平16~18	〃 園芸部、経営・機械部、北部農技農業部
*収穫サイクルの短縮による家庭用切り花専用生産技術の開発 (1) 採花母枝の切り戻しによる収穫サイクルの短縮 (2) 整枝法改善による短茎多収技術 (3) 収量倍増のための組み立て実証	平16~19	園芸部、淡路農技農業部
内生細菌を基幹としたレタスビッグベイン病防除技術の開発	平15~17	病虫害防除部、淡路農技農業部

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
(1) O.brassicae 侵入阻害内生細菌を用いたレタスビッグベイン病の被害軽減技術の開発 (2) 抵抗性程度の異なるレタス品種の開発 (3) 内生細菌を基幹とした防除体系の構築 温湯消毒によるクリシギゾウムシ防除方法の確立 (1) クリシギゾウムシに対し有効で果実品質に影響を及ぼさない湯温と浸漬時間の検討 (2) 浸漬後の乾燥方法の検討 (3) 温湯消毒による防除法の確立と現場での実証	平15~17	病虫害防除部、淡路農技農業部 病虫害防除部
*レタスパーテイシリウム萎凋病の防除対策 (1) レタスパーテイシリウム萎凋病の発生実態と病原菌の同定 (2) レタスパーテイシリウム萎凋病に対する罹病程度検定 (3) レタスパーテイシリウム萎凋病の寄主範囲の把握 (4) 有効薬剤の検索 (5) 薬剤防除の利用等を組み合わせた総合防除技術の開発	平16~18	病虫害防除部
*拮抗微生物を核とした特産マメ類立枯性病害防除システムの開発 (1) 耕種的手法による発病回避技術の開発 (2) 作物の病害抵抗性強化技術の開発 (3) 有効殺菌剤の選抜および処理技術の確立 (4) 体系的防除システムの構築と現地実証	平16~18	病虫害防除部

県 単

(※印 抄録掲載)

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
地域特産物における効果的で安全な農薬使用技術の確立 水稲・麦に対する堆肥及び肥料三要素試験 (1) 水稲・麦に対する堆肥及び肥料三要素試験 (2) 水稲に対する堆肥連用中止ほ場の残効試験 (3) 地力の異なるほ場における水稲生産性の経年変化	平13~17 継 続	部長 (農林水産環境担当) ◇
水稲に対する堆肥及び有機質資材・肥料連用試験 (1) 牛糞尿オガクズ堆肥連用効果 (2) 有機質資材ならびに有機質肥料の影響	継 続	◇
野菜栽培および食品廃棄物堆肥化における微生物資材等の効果検定と利用方法 (1) 微生物資材利用実態調査 (2) 食品残渣等の腐熟促進効果の判定 (3) イチゴ等果菜類に対する利用効果の判定	平15~17	◇
農業公害対策調査	継 続	◇
*酵素標識免疫測定法 (E L I S A) を利用した簡易残留農薬分析法の開発	平12~16	◇
各種遺伝資源の利用による「丹波黒大豆」への病害抵抗性付与技術の開発 (1) 黒大豆栽培圃場からの土壌伝染性病原菌の採取とレースの分類 (2) 抵抗性遺伝子導入のための系統の育成	平14~18	部長 (生物工学担当)
遺伝子診断を利用した酒米育種と栽培評価システムの開発	平14~18	◇

県 単

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
(1) DNAマーカーによる選抜技術の構築		部長 (生物工学担当)
(2) 酒米品質向上のための登熟生理の解明		
生物工学的手法を用いた農業生産振興対策試験	平13~17	部長 (生物工学担当)
(1) 地域特産物のウイルスフリー化と大量増殖技術の開発		
胚の大量生産による優良牛の増産技術の開発	平13~17	〃
(1) 体細胞クローン牛の生産効率の向上		
(2) 核移植関連胚の長期保存技術開発		
(3) 核移植再構築胚の正常性の検討		〃
(4) 受胎率向上のための操作胚の凍結保存技術の開発		
有用植物遺伝資源の収集保存試験	継 続	〃
農業に関するアイソトープ利用試験	継 続	〃
生殖細胞DNA診断技術の開発による優良牛の早期選抜	平13~17	〃
(1) 生殖細胞を用いたDNA診断技術の確立		
(2) 生殖細胞のDNAの遺伝様式の解明		
(3) DNA診断胚の生存性の向上		
(4) DNA診断胚の超低温保存技術の確立		
(5) DNA診断胚の移植試験		
* 県産ブランド米の高品位栽培・流通技術の開発	平13~16	部長 (食品加工流通担当)
(1) 米の品質評価及び機能性評価		
(2) 米の加工適性評価及び加工品の開発		
(3) 米の高品位流通技術の開発		
新製品開発試験		〃
(1) 現地相談等対応試験	継 続	
(2) 第Ⅱ期ひょうご豊かな米作り推進対策関連試験	平13~17	
但馬水産加工技術開発試験		但馬水技、部長 (食品加工流通担当)
(1) 加工相談、利用加工試験、分析試験	継 続	
(1) 灰干しわかめの加工実用化試験	継 続	
(2) ホタルイカ目玉除去装置改良試験	継 続	
中国広東省との共同研究による安全・安心な米づくりのための病害虫抵抗性品種の育成	平15~19	作物部
(1) 遺伝子の集積による良質、良食味、耐病虫性品種の育成		
(2) 日中交雑交代選抜並びに戻し交雑による多収、耐暑性、耐病性良食味品種の育成		〃
(3) 育成系統の早期実用化		
* 良食味化のための環境負荷軽減型水稲肥培管理体系の確立	平16~18	作物部
(1) 水稲主要奨励品種の生育診断に基づく高品質・良食味化栽培モデルの作成		
(2) 稲体の生体情報を活用した土壌窒素発現量の簡易診断法の開発		
* 高品質小麦生産のための生育制御技術の確立	平16~18	作物部
(1) 初期生育を確保するための排水対策と播種法		
(2) 高品質安定生産のための生育診断技術の確立		
奨励品種決定基本調査	継 続	作物部、北部農技農業部
奨励品種決定基本調査 (水稲・麦・大豆)		
原々種栽培	継 続	作物部、作物部 (酒米試験地)、北部農技農業部
原々種栽培 (水稲・麦・大豆)		作物部
作物品種改良試験		
(1) 水稲新品種育成試験	継 続	
(2) 無エルシン酸ナタネ品種比較試験	平14~16	
作物栽培法改良試験		〃
* (1) キヌヒカリの乳白・心白米低減技術の確立	平14~16	
* (2) 大豆「サチユタカ」の収穫期における裂皮粒低減技術の確立	平16~18	
(3) 気象感応調査 (水稲・麦)	継 続	

県 単

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
酒造好適米の品質評価方法の開発と利用 (1) 酒米の微量簡易酒造適性判定法の開発と有望系統の評価 (2) 新評価法の応用による新品種の育成及び栽培技術の確立 (3) データバンクの構築	平11~17	作物部 (酒米試験地)、部長 (食品加工流通担当)
酒米改良試験 (1) 酒米新品種育成試験 (2) 掛米専用品種の育成 (3) 酒米の気象感応調査	継 続 継 続 継 続	作物部 (酒米試験地)
* (4) 極早生酒米品種の品質向上技術の開発 (5) 酒米玄米形質の遺伝解析	平14~16 平14~16	
原種生産管理改善試験 (1) 大豆の発芽安定化試験 (2) 種子の貯蔵性向上試験	平13~18 平15~26	作物部 (原種農場)
* (2) 麦原種の生産性向上試験	平16~18	
* 花壇苗標準培養土のグルーピング化による要素障害対策技術の開発 (1) 花壇苗の要素障害のデータベース化 (2) 標準培養土のグルーピング化に伴う肥培管理指針作成 (3) 障害対策技術の確立	平16~18	園芸部
* のじぎく国体用ノジギクの開花調節技術の開発と栽培マニュアルの作成 (1) 優良系統の選抜と開花調節技術の開発 (2) 栽培マニュアルの作成と選抜系統の母株の育成と配布 (3) 生産農家での実証と技術指導	平16~18	〃
* 夏秋ギクの生産性向上と省力生産システムの開発と実証 (1) 生産性向上技術の開発 (2) 省力生産システムの開発 (3) 技術の組み立て実証及び現地実証	平14~16	〃
イチジクの超早期成園化による増収技術の確立 (1) 整枝せん定法及び新梢管理法の開発 (2) 若木の着果及び収量安定化 (3) 超密植に適した樹型の検討 (4) 成園化後の追跡調査 (5) 超早期成園化のマニュアル作成と経済的評価	平13~17	〃
観光・直売に適した大粒系ブドウ品種の選定と安定供給技術の確立 (1) 観光・直売に適した大粒系ブドウ品種の選定 (2) 選定品種の高品質安定生産技術	平15~17	〃
野菜園芸改良試験 (1) 果菜類の環境と調和した持続的栽培技術の確立と実証	平14~18	〃
* (2) 生分解性資材による露地マルチ栽培の収量安定性とその向上策 (3) 果菜・葉菜類の作型別適品種の選定と栽培法の改善	平14~16 継 続	〃
花き園芸改良試験 (1) 花き類の新品目開発、優良品種の選定及び栽培方法の改善 (2) 大輪バラの一定長収獲法による良品多収技術の開発と実証	継 続 平14~17	〃
果樹園芸改良試験 (1) クリの省力安定栽培技術の確立 (2) 兵庫のブランド果樹確立に向けた優良品種地域適応性検定試験	平15~17 継 続	園芸部
薬草改良試験 * (1) トウキの増収技術の確立	平16~18	園芸部
病害抵抗性品種と内生細菌の相互反応による病害制御技術の開発 (1) 病害抵抗性向上現象の解明 (2) 内生細菌とトマト品種との関係 (3) 内生細菌とハクサイ品種との関係 (4) 製剤化細菌の効果発現と機構解明 (5) 病害抵抗性向上資材の利用によるイチゴ病害の発病抑制技術の確立	平13~17	病害虫防除部

県 単

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
カメムシ類のフェロモン及び誘引物質の探索とその利用法の開発 (1) 斑点米多発地域におけるカメムシ類の種類と発生消長 (2) 防除対策の検討 (3) フェロモン・誘引物質の検索と利用	平13～17	◇
昆虫機能を利用した害虫の安定的防除技術の開発 (1) 光を利用した害虫防除 (2) 天敵利用法の確立 (3) 性フェロモンを利用したハイマダラノメイガの予察法の確立 (4) 種内、種間作用機構を利用した害虫防除	平13～17	◇
病害虫防除試験		◇
* (1) イネ内穎褐変病の発生生態と防除	平14～16	
(2) コムギ赤かび病の総合防除体系の確立	平15～17	
* (3) 良食味米に対するいもち病リスク軽減化防除技術の確立	平16～18	
(4) 複合性フェロモンを利用した野菜害虫の防除	平16～18	
(5) 病害抵抗性向上資材の利用によるイチゴ病害防除技術の確立	平16～17	
(6) 臨機対応が求められる害虫の原因究明と防除対策	平15～17	
* 特定需要向けレタスの経営方式と省力機械化体系の確立	平14～16	経営・機械部、園芸部
(1) 特定需要向けレタスの経営動向及び市場動向調査		
(2) 特定需要向けレタスの栽培技術の確立		
(3) 特定需要向けレタスの省力機械化体系の確立		
(4) 特定需要向けレタスの現地実証と経営評価		
農業経営試験		経営・機械部
(1) 消費者の購買行動に基づく特産物開発手法の確立	平16～17	
* (2) 傾斜畑造成による麦・大豆栽培の効果算定と集落営農への導入条件	平14～16	
* (3) 経営モデル分析による営農展開方策の検討	平14～16	
農業機械化試験		◇
(1) 地域特産作物等の省力機械化・軽労働作業技術の開発	平15～16	
(2) 土壌モルタル管理道の耐久性と維持管理法	平14～17	
(3) 地域ビジョン対応研究	平16～18	
但馬牛の遺伝学的改良手法の開発	平13～17	家畜部
(1) DNAマーカーを用いたQTL解析		
(2) 統計遺伝学的手法による検討		
消費者の求める美味しい牛肉の評価基準の開発	平14～18	◇
(1) 植物性製造粕及び肥育期間の美味しさ成分への影響の検討		
(2) 美味しさに関する成分の検討		
(3) 牛肉脂肪の簡易評価における光学的技術の応用性の検討		
(4) 美味しさ成分の遺伝的影響の検討		
(5) 給与飼料中の穀物形状が美味しさ成分へ与える影響の検討		
(6) 美味しい牛肉の評価基準の実用化への検討		
但馬牛理想肥育牛の発育生理に基づく合理的な飼養管理技術の開発	平15～19	◇
(1) 導入時及び肥育前期の栄養状態と産肉性との関連の検討		
(2) 肥育素牛の栄養状態に応じた肥育初期給与エネルギー水準の検討		
(3) 肥育中期の給与エネルギー水準の検討		
(4) タイプ別飼養マニュアルの作成と実証試験		
超早期母子分離子牛の育成後の繁殖性と肥育性の検討	平15～18	◇
(1) 育成期に給与する配合飼料の粗蛋白含量の違いが肥育性に及ぼす影響		
(2) 3～7か月齢の発育速度の違いが肥育性に及ぼす影響		
* 但馬牛肥育牛における脂肪壊死症の発症防止技術の開発	平16～20	
(1) 育成牛の栄養状態の把握方法の検討		
(2) 育成期の栄養状態と脂肪壊死症発症との関連性の検討		
(3) 肥育前期の栄養状態と脂肪壊死症発症との関連性の検討		
(4) 脂肪壊死症を発症させない飼育管理マニュアルの作成		

県 単

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
「ひょうご味どり」の経済形質遺伝子検索による生産性の向上 (1) 選定されたDNAマーカーの育種改良への応用 (2) 体重及び腹腔内脂肪蓄積の関連遺伝子のポジショナルクローニング (3) 遺伝子診断を利用した種鶏の選抜	平13～17	◇
家畜用飼料として利用可能な食品余剰物の検索と飼料化技術及び実証試験 (1) 食品余剰物の家畜用飼料としての適性評価 (2) 家畜用飼料としての代替割合の検討	平13～17	◇
*生態系及び光触媒を利用した畜舎内臭気軽減化技術 (1) 酸化チタンによる脱臭効果の検討 (2) 脱臭装置による脱臭効果の検討 (3) 悪臭成分低減効果の高い植物等の選定と利用法の検討	平15～17	◇
*県北地域におけるコシヒカリ作期分散をめざした良食味品種・作型の選定 (1) 「兵系72号」の現地適応性と良質安定栽培法の検討 (2) 「ヒノヒカリ」の良質安定生産技術の確立	平16～18	北部農技農業部
*中山間地域における遊休水田の保全管理技術の開発と実証 (1) カバークロップ、廃棄物を利用した水田(畑)の保全管理 (2) 復田(畑)後の土壌耕耘処理および作物管理技術	平16～18	◇
*ポスト「二十世紀」梨の選定と栽培実証 (1) ポスト二十世紀梨の選定 (2) 省力・省農薬栽培の実証	平16～18	◇
*有機栽培におけるクリーニングクロープ利用による病原菌増殖抑制及び塩類集積改善技術の確立 (1) クリーニングクロープ利用による病原菌増殖抑制技術の確立 (2) クリーニングクロープ利用による塩類集積改善技術の確立 (3) 輪作体系の確立	平16～18	北部農技農業部 部長(農林水産環境担当)
但馬地方における農作物の品種並びに栽培法改善 (1) 水稲気象感応調査 (2) 持続性の高い水稲栽培法の確立と実証	継 続 平14～17	北部農技農業部
* (3) 「コシヒカリ」の乳白米対策試験	平14～16	
* (4) 持続性の高い黒大豆栽培法の確立	平13～16	
(5) 枝豆向き丹波黒早生優良品種の選定	平15～17	
* (6) ビオ・セル・ショット工法の屋上緑化への適応性実証試験	平16～17	
梨等地域特産果樹改良試験 (1) 梨気象感応試験 (2) 但馬丹波地域に適するナシ品種の選定	継 続 平11～18	◇
* (3) 観光・オーナー制向け省力リング栽培の開発と実証	平16～19	
新育種手法開発調査試験 (1) 育種価評価による種牛の遺伝的産肉能力の推定 (2) 但馬牛改良データベースの構築	継 続	北部農技畜産部
超早期母子分離子牛の育成後の繁殖性と肥育性の検討 (1) 育成期に給与する配合飼料の粗蛋白質含量の検討 (2) 育成期の栄養水準の検討	平14～18	◇
*凍結保存優良但馬牛胚の受胎率の向上現場実証 (1) 新規排卵同期法の開発 (2) 定時胚移植技術の開発	平14～16	◇
繁殖雌牛の哺育能力の早期判定法の確立と実証 (1) 哺育初期における泌乳量の早期判定法の確立 (2) 母牛の体型が泌乳能力に及ぼす影響 (3) 血統構成が哺育能力に及ぼす影響 (4) 泌乳能力に応じた子牛管理の実証	平15～17	◇



県 単

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
<p>*繁殖和牛に対応した飼料用イネの循環型高位生産・給与技術の開発と実証</p> <p>(1) 循環型高位生産飼料用イネの品種選定と収穫時期による飼料成分への影響検討</p> <p>(2) 繁殖用雌牛への飼料用イネサイレージ給与が繁殖性に及ぼす影響</p>	平16~19	北部農技農業部 北部農技畜産部 作物部・家畜部
<p>*物質循環に基づく露地野菜の持続的、再生産栽培技術の確立と実証</p> <p>(1) タマネギ残さの腐朽・分解促進要因の検討</p> <p>(2) 効率的なタマネギ残さ処理技術の開発</p> <p>(3) 野菜類の再生産栽培技術の実証</p>	平16~18	淡路農技農業部
<p>淡路特産切り花の環境に配慮した高品質安定生産システムの確立</p> <p>(1) カーネーションの給液管理技術の開発</p> <p>(2) スイートピーの給液管理技術の開発</p> <p>(3) 給液等マニュアルの作成と実証・評価</p>	平13~17	淡路農技農業部
<p>切り花(カーネーション、バラ)の栽培管理と流通技術の開発による日もち保証マニュアルの作成</p> <p>(1) 栽培環境及び収穫後管理と日もちとの関係解明</p> <p>(2) 日もち保証マニュアルの作成</p>	平15~17	淡路農技農業部
<p>*収穫サイクル短縮による家庭用切り花専用生産技術の開発</p> <p>(1) 短径収穫法による増収技術の開発</p> <p>(2) 短径収穫法に適した新整枝技術の開発</p> <p>(3) 技術マニュアルの作成と実証</p>	平16~19	淡路農技農業部、園芸部
<p>カンキツ、ビワの需要変化に即応できるフレキシブルな果樹園システムの開発</p> <p>(1) 大容量プランターによる新栽培システムの開発</p> <p>(2) 新栽培システムにおける高品質栽培技術の確立</p>	平13~17	淡路農技農業部
<p>淡路地方の園芸作物の品種栽培試験</p> <p>(1) 特産および新特産野菜の種類、品種選定と栽培改善</p> <p>(2) タマネギの高品質生産体系の確立</p> <p>(3) カーネーションの長期連作が収量品質および土壌の変化におよぼす影響</p> <p>(4) カーネーションの品種の選定</p> <p>(5) 一・二年草、宿根草による景観形成と園芸利用</p>	<p style="text-align: center;">継 続</p> <p style="text-align: center;">平15~17</p> <p style="text-align: center;">継 続</p> <p style="text-align: center;">継 続</p> <p style="text-align: center;">平14~18</p>	淡路農技農業部
<p>* (6) カーネーションの害虫の耕種的・物理的防除技術の開発</p> <p>(7) 新特産果樹の種類及び品種の選定</p>	<p style="text-align: center;">平15~16</p> <p style="text-align: center;">継 続</p>	淡路農技農業部
<p>淡路地域における環境負荷軽減及び省力化のための野菜病虫害の効率</p>		
<p>* (1) レタスビッグベイン病の発生抑制技術の開発</p> <p>(2) レタス灰色かび病の効率的防除技術の検討</p> <p>(3) 高圧ナトリウム灯によるレタスのヨトウムシ類防除技術の開発</p>	<p style="text-align: center;">平13~17</p> <p style="text-align: center;">平15~17</p> <p style="text-align: center;">平15~17</p> <p style="text-align: center;">平13~17</p>	淡路農技畜産部
<p>環境負荷低減と効率的生産を両立するための乳牛飼養技術の開発</p> <p>(1) 最も効率の良い濃厚飼料のタイプ別給与順序の検討</p> <p>(2) ルーメン発酵最適化を実現する新給与システムの開発</p> <p>(3) 新給与システム実用化に向けた検討</p> <p>(4) 新給与システムのマニュアル作成</p>	平13~17	淡路農技畜産部
<p>家畜ふん尿処理と利用技術の確立と実証</p> <p>(1) 深型攪拌式乾燥発酵装置の性能調査</p> <p>(2) 素材による堆肥化処理システムの確立</p> <p>(3) 尿の悪臭防止対策</p>	平13~17	淡路農技畜産部
<p>乳牛の生涯生産性向上を目指した施設改善技術の確立と実証</p> <p>(1) 酪農家施設の実態調査</p> <p>(2) 割蹄による生産性向上効果の検討</p> <p>(3) 牛床マットの検討</p> <p>(4) 酪農家における改善効果の現地実証展示</p>	平15~18	〃

県 単

試 験 研 究 課 題	研究期間	担 当
<p>*安全・安心な生乳生産のための生体情報監視システム技術の開発</p> <p>(1) 採取体液からの生体情報と飼養・健康状態との関連性の検討</p> <p>(2) 近赤外線分光法による体表面からの非侵襲的な生体情報把握法の検討</p> <p>(3) 耳標 I Cチップによる生体情報センシング技術の開発</p> <p>(4) 生産現場における生体情報監視システムの構築と実証</p> <p>《プロジェクト研究》</p> <p>農林水産物・食品残渣の有効利用技術の開発</p>	平16~20	〃
<p>* (1) 大豆加工廃棄物及び回収有価物の利用法</p> <p>(2) 農林水産物・水産加工残渣の有効利用技術</p> <p>(3) 食品産業廃棄物を利用したキノコ栽培と機能性食品への利用</p> <p>農林水産物が持つ環境浄化機能の開発</p>	平14~16	部長（食品加工流通担当） 部長（食品加工流通担当） 森林林業資源部
<p>(1) 水田・ため池の持つ窒素浄化能の評価と浄化技術の開発</p> <p>(2) 人工衛星データによる農林水産水域の水質モニタリング手法の開発</p> <p>農林水産業による景観・アメニティー・ビオトープ空間の創出</p>	平14~18	部長（農林水産環境担当） 森林林業資源部・水産技術資源部
<p>(1) 景観・ビオトープに配慮したため池、畦畔の管理方法の評価と実証</p> <p>① ため池の現状把握と景観の評価</p> <p>② 管理技術の実証</p> <p>③ 畦畔雑草の生態調査と管理方法の開発</p> <p>④ 畦畔法面へのシバ類吹き付け植栽の適応性の実証</p>	平14~18	部長（農林水産環境担当）、 作物部、北部農技農業部
<p>(2) 景観・ビオトープに配慮した里山林の管理方法の評価と実証</p> <p>① 景観を高める果樹の植栽による里山林の活用等の促進</p> <p>② 林縁、畦畔等の管理状況と現植生および蝶類の把握</p> <p>③ 林縁・畦畔等の種多様性を高める工法等の実証</p>	平14~18	園芸部、森林林業資源部
<p>(3) 間伐材を利用した環境畦畔の耐久性と防腐・防蟻剤の作物への影響調査</p>	平14~17	部長（農林水産環境担当）、 森林林業資源部
<p>農林水産業の副産物あるいは廃棄物の炭化をはじめとした各種資源循環利用法の開発</p>	平15~17	部長（農林水産環境担当）
<p>(1) 有機性廃棄物由来炭化物の野菜栽培への施用効果</p> <p>(2) 樹皮等を利用した炭化物の特性把握</p>		部長（農林水産環境担当）、 淡路農技農業部 森林林業木材利用部、資源部
<p>中山間地域における獣害防止技術と被害軽減型圃場管理技術の実証</p>	平14~18	北部農技農業部、病害虫防除部、経営・機械部
<p>(1) シカ等農作物被害防止技術の実証</p> <p>(2) 被害軽減型圃場管理技術の実証</p>		

事 業

（※印 抄録掲載）

試 験 研 究 課 題	依 頼 機 関	担 当
環境負荷軽減に配慮した施肥基準の策定、改訂	農産園芸課	部長（農林水産環境担当）
土壤機能実態モニタリング調査	〃	〃
*野菜栽培における食品リサイクル堆肥と肥料の用法（有機質資源施用基準設定調査）	〃	〃
地力増進対策診断指導事業	〃	〃
ひょうごのやさしい施肥・土づくり	〃	〃
土壤機能増進対策事業	〃	〃
ひょうご安心ブランドに係わる残留農薬分析	普及教育課	〃
農薬残留対策総合調査	〃	〃
農用地土壤汚染対策推進事業	〃	〃

事 業

試 験 研 究 課 題	依 頼 機 関	担 当
集落排水汚泥コンポストの農地施用による土壌・作物体への影響	農 村 環 境 課	部長（農林水産環境担当）
畑作対応水田基盤管理技術策定調査	農 地 整 備 課	〃
ため池の水質調査	農 村 環 境 課	〃
デジタル土壌図の有効利用	農 産 園 芸 課	〃
食品廃棄物堆肥化及び施用法試験	課 長（消費流通担当）	〃
食品産業振興対策事業	〃	部長（食品加工流通担当）
（1）新製品・新メニュー開発推進事業		〃
（2）ひょうごフードシステム推進事業		〃
（3）食品産業対応型フードシステム実践事業		〃
（4）食のゼロエミッション推進事業		〃
消費者食糧農業啓発推進事業	〃	〃
まちとむらを結ぶ食料教室開催事業		〃
ひょうごブランド商品育成事業		〃
第11期ひょうご豊かな米づくり推進対策事業	農 産 園 芸 課	作物部、酒米試験地、部長 （食品加工流通担当）
奨励品種決定調査事業	〃	〃、〃、北部農業部
*原種圃設置事業	〃	作物部（原種農場）
*麦・大豆原種生産対策事業	〃	作物部（原種農場）
*委託原種圃設置事業	〃	作物部（原種農場）
業務用需要対応野菜安定供給推進事業	農 産 園 芸 課	部長（食品加工流通担当）
ひょうごの果樹・茶産地レベルアップ事業		
病害虫発生予察事業	普 及 教 育 課	病害虫防除部（病害虫防除所）
病害虫防除対策事業	〃	〃
農業機械化推進事業	農 産 園 芸 課	経営・機械部
農林畜産公害対策	畜 産 課	家畜部
畜産ふん尿処理技術実用化調査事業	〃	〃
*家畜人工授精事業	〃	〃
豚産肉能力直接検定事業	〃	〃
豚産肉能力間接検定事業	〃	〃
ひょうご味どり造成普及事業	〃	〃
鶏能力検定推進事業	〃	〃
流通飼料品質改善対策事業	〃	〃
家畜DNA育種基盤事業	〃	北部畜産部、淡路畜産部
*肉用牛産肉能力検定事業	〃	
農業機総合対策事業	農 産 園 芸 課	経営・機械部
・総合対策		
・技能者育成		
・農業機械に関する研修の実施		
農作業安全対策の推進	農 産 園 芸 課	経営・機械部
・農作業事故調査		
・高齢者等農作業事故安全確保指導事業		
・農作業安全指導技能向上研修会		
兵庫県農業生産生産資材費低減行動計画の推進及び策定	農 産 園 芸 課	経営・機械部
・農業生産資材費低減総合推進対策事業 （農業機械効率的長期利用促進事業）		
・土づくりシステム啓発推進事業		

事 業

試 験 研 究 課 題	依 頼 機 関	担 当
*肉用牛産肉能力検定事業 (1) 直接検定試験 (2) 現場後代検定成績から得られた種雄牛の育種価	畜 産 課 〃	北部畜産部 〃
*家畜人工授精事業 但馬牛改良推進対策事業 優良乳用雌牛効率生産推進対策事業 超高能力乳用牛増殖促進事業 乳質改善指導事業 乳用牛群検定普及定着化事業 飼料作物関連事業	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	淡路畜産部 〃 〃 〃 〃 〃 〃

受 託

試 験 研 究 課 題	委 託 機 関	担 当
国際協力事業団研修 ほ場整備に係る土壌調査 新農業応用試験	国際協力事業団 県内市町 兵庫県植物防疫協会	部長（農林水産環境担当） 部長（農林水産環境担当） 作物部、園芸部、病虫害 防除部、北部農技農業部、 淡路農技農業部
日本型水稻精密農法実証サブ試験 シュンギクの適品種選定 バラの生育に及ぼす培地振動の効果 育苗技術の高度化によるトマト低段密植 栽培の高品質多収化技術開発 透湿性白色シートを用いたイチジクの栽培環境 改善による高品質化生産	生研センター（平成18年まで） 日本種苗協会 （社）農業電化協会 大洋興業株式会社 園芸振興松島財団行	経営機械部 園芸部 園芸部 園芸部 園芸部
*収穫サイクルの短縮による家庭用切り花専用生産 技術の開発 温湯処理によるクリシグゾウムシ防除方法の確立 カーネーションの養液土耕におけるキチン質の効 果の解明試験 露地野菜における施肥効果向上技術確立試験	日本花き普及センター 農研機構・果樹研究所 近畿中国四国農業研究セン ター 全農・兵庫県本部	淡路農技農業部、園芸部 病虫害防除部 淡路農技農業部 淡路農技農業部